

# 助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー)(日本看護協会)

## CLoCMiP®...Clinical Ladder of Competencies for Midwifery Practice

### 発達段階ごとの到達目標

レベル新人	1. 指示・手順・ガイドに従い、安全確実に助産ケアができる 2. 指示・手順・ガイドに従い、ウィメンズヘルスケアができる
レベルⅠ	1. 健康生活支援の援助のための知識・技術・態度を身につけ、安全確実に助産ケアができる 2. 院内助産・助産師外来について、その業務内容を理解できる 3. ハイリスク事例についての病態と対処が理解できる 4. 支援を受けながら、基礎的な知識・技術・態度を身につけ、ウィメンズヘルスケアができる
レベルⅡ	1. 助産過程を踏まえ個別的なケアができる 2. 支援を受けながら、助産師外来においてケアができる 3. 先輩助産師とともに、院内助産においてケアができる 4. ローリスク/ハイリスクの判別および初期介入ができる 5. 特徴的な事例について、ウィメンズヘルスケアができる
レベルⅢ	1. 入院期間を通して、責任をもって妊産褥婦・新生児の助産ケアができる 2. 助産師外来において、個別性を考慮し、自律したケアができる 3. 助産師外来において、指導的な役割ができる 4. 院内助産において、自律してケアができる 5. ハイリスクへの移行を早期に発見し対処できる 6. ウィメンズヘルスケアを自律して実践できる
レベルⅣ	1. 創造的な助産ケアができる 2. 助産師外来において、指導的な役割ができる 3. 院内助産において、指導的な役割ができる 4. ローリスク/ハイリスク事例において、スタッフに対して教育的なかかわりができる 5. ウィメンズヘルスケアにおいて、スタッフに対して教育的な関わりができる

### クリニカルラダー

		レベル新人	レベルⅠ	レベルⅡ	レベルⅢ	レベルⅣ
倫理的感応力	ケアリングの姿勢	① ケアリングの意味・主要な概念や理論が理解できる ② ケアリングの重要性が理解できる ③ ケアリングの主要な概念をもとに行動できる (知ること/共にいること/誰かのために行うこと/可能にする力を持たせること/信念を維持すること)		① レベルに合った対象へのケアについて、ケア提供した事例を具体的に思い浮かべながら、助産師としての姿勢を自己評価できる (ケアリング実践のための自己課題を明確にできる)		② ケアリングの意味、主要概念や理論について、後輩・同僚に説明できる ③ ケアリングの意味、主要概念や理論に基づいた助産ケアのために、後輩・同僚に教育・指導的な役割ができる
	マタニティケア能力	① 支援を受けながら、妊娠期・分娩期・産褥期の健康生活行動診断/経過診断/新生児期の経過診断に必要な情報を理解できる ② 定められたフォームに従い、情報収集できる ③ 指導を受けながら、不足している情報がわかり、必要な追加情報を収集できる ④ 助産ケアの基準・手順に沿って正しい用語・適切な表現で記録できる ⑤ 支援を受けながら、妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期におけるハイリスクの要因について理解し、関連する情報を明らかにすることができる	① 妊娠期・分娩期・産褥期の健康生活行動診断/経過診断/新生児期の経過診断に必要な情報を収集できる ② 不足している情報がわかり、必要な追加情報を収集できる ③ 指導を受けながら、アセスメントに必要な情報を整理できる ④ 正しい用語、適切な表現で記録できる ⑤ 妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期におけるハイリスクの要因について理解し、関連する情報を明らかにすることができる	① 妊娠期・分娩期・産褥期の健康生活行動診断/経過診断/新生児期の経過診断に必要な情報を個別的な助産ケアのために収集できる ② アセスメントに必要な情報を整理できる ③ 妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期におけるハイリスクの要因について、個別性に合わせて関連する情報を明らかにすることができる	① 妊娠期・分娩期・産褥期の健康生活行動診断/経過診断/新生児期の経過診断に必要な情報を理論的な根拠に基づいて収集できる ② 家族背景も考慮したアセスメントを行うために情報収集できる ③ ②の情報を、必要性・優先度を考慮して整理できる ④ 他の関連職種からも意図的に情報収集できる ⑤ 妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期におけるハイリスクの要因について、予測的判断をもち優先度を考慮して明らかにすることができる	① 対象の個性や家族背景等全体をとらえ、必要な領域に絞りを絞り、選択的に情報収集できる

		レベル新人	レベルⅠ	レベルⅡ	レベルⅢ	レベルⅣ
妊娠・分娩期・産褥期・新生児期の診断とケア／分娩期の配慮の視点 マタニティケア能力	アセスメント／問題（ニーズ）の明確化	<b>ローリスク</b> ① 周産期に関連する解剖生理を理解できる ② 妊産婦・新生児のバイタルサイン、検査値、身体の諸計測値の正常値がわかる ③ 支援を受けながら、測定値のもつ意味を理解できる ④ 支援を受けながら、収集した健康生活行動診断・経過診断の情報を分析できる <b>ハイリスク</b> ① 周産期の代表的疾患について病態が理解できる ② 支援を受けながらハイリスクの要因について理解できる	<b>ローリスク</b> ① 妊産婦の正常経過および新生児の生理が理解できる  <b>ハイリスク</b> ① 母体および新生児に関する周産期の代表的疾患・病態生理および検査、多胎妊娠のリスクについて理解できる ② ①に基づき妊産婦および新生児の異常への対処と援助が理解できる ③ ハイリスクの要因について理解できる	<b>ローリスク</b> ① 収集した健康生活行動診断・経過診断の情報を分析できる ② 妊産婦・新生児のニーズを明確にできる ③ ニーズの優先順位を決定することができる  <b>ハイリスク</b> ① 妊産婦・新生児に起こりうるあるいは起こっている問題を明確にできる ② 問題の優先順位を決定することができる ③ 支援を受けながら、ハイリスクの要因について明らかにすることができる	<b>ローリスク</b> ① 予測的判断をもち、潜在するニーズを明確にできる <b>ハイリスク</b> ① 潜在する助産問題を明確にできる ② 助産ケアによって解決可能な問題と、薬剤の使用等治療を必要とする可能性がある問題を明確に区別し、目標設定できる ③ ハイリスクの要因について優先度を考慮して整理できる	<b>ローリスク／ハイリスク</b> ① 診断プロセスに沿って対象のもつリスクを踏まえ正しく診断できる（院内助産対象の選定ができる） ② 診断に至る根拠を他の助産師や医療チームメンバーに説明できる ③ 診断プロセスに沿った診断ができるように指導できる ④ より複雑で困難なハイリスクの要因について優先度を考慮して整理できる
	診断	<b>ローリスク／ハイリスク</b> ① 支援を受けながら、健康生活行動診断・経過診断によって適切に診断できる	<b>ローリスク／ハイリスク</b> ① 必要に応じて支援を受けながら、健康生活行動診断・経過診断によって適切に診断できる	<b>ローリスク／ハイリスク</b> ① 健康生活行動診断・経過診断によって適切に診断できる ② 診断した内容から問題の優先順位を考慮することができる	<b>ローリスク／ハイリスク</b> ② 診断した内容について、助産師によるケアでよいか、医師による医療介入が必要かを考慮した上で、優先順位を判断できる	<b>ローリスク／ハイリスク</b> ① 診断した内容を妊産婦を含めた医療チームで共有できる ② 診断した内容について指導できる ③ 緊急時およびそれが予測される場合に、短時間で必要な情報収集・アセスメントを行い、優先順位を考慮して診断できる
	計画立案	<b>ローリスク</b> ① 妊産婦・新生児の現在の状態およびニーズを理解できる ② 支援を受けながら、妊産婦・新生児のニーズに沿って目標を設定できる ③ 支援を受けながら、妊産婦・新生児の状態、問題リスト、目標に一貫性がある計画を立てられる ④ 5W1Hを踏まえた具体的な計画を立案できる ⑤ 助産ケア基準・標準助産計画を活用できる <b>ハイリスク</b> ① 支援を受けながら、ハイリスク妊産婦・新生児に関して立案された助産計画を理解することができる ② 支援を受けながら、緊急時に指示された計画を理解できる	<b>ローリスク</b> ① 妊産婦・新生児のニーズに沿って目標を設定できる ② 妊産婦・新生児の状態、問題リスト、目標に一貫性がある計画を立てられる  <b>ハイリスク</b> ① 支援を受けながら、妊産婦および家族参加型の助産計画を立案できる  <b>ハイリスク</b> ① 支援を受けながら、ハイリスク妊産婦・新生児に関して助産計画を立案できる ② 緊急時に指示された計画を理解できる	<b>ローリスク</b> ① 妊産婦・新生児の個性を踏まえた助産計画を立案できる ② 立案した助産計画を評価・修正できる ③ 妊産婦および家族参加型の助産計画を立案できる <b>ハイリスク</b> ① ハイリスク妊産婦・新生児に関する、個別性・優先度を考慮した助産計画を立案できる ② 必要時支援を受けながら緊急時に指示された母体・胎児／新生児に必要な計画を立案できる	<b>ローリスク</b> ① 妊産婦・新生児の家族の状況を踏まえた助産計画を立案できる ② 状況に応じて計画立案・修正できる ③ 妊産婦および家族参加型の助産計画を立案・修正できる ④ 関連する保健医療職との連携も含めた計画を立案・修正できる <b>ハイリスク</b> ① ハイリスク妊産婦・新生児に関する、個別性・優先度を考慮した助産計画を立案し、状況の変化に応じて修正できる ② 緊急時に母体・胎児／新生児に必要な計画を立案できる	<b>ローリスク／ハイリスク</b> ① 妊産婦・新生児における優先度を考え、助産問題に適した方法論を用いて計画を立案できる ② 対象の問題を解決するために適切な目標（到達・測定・評価）を設定できる ③ 計画立案のプロセスにおいて教育・指導的な役割ができる（緊急時も含める） <b>ハイリスク</b> ① ハイリスク妊産婦・新生児に関する、個別性・優先度を考慮した助産計画を立案し、状況の変化に応じて修正できる ② 緊急時に母体・胎児／新生児に必要な計画を立案できる
	実践	<b>ローリスク／ハイリスク</b> ① 助産ケアを行う前に説明できる ② 支援を受けながら、受け持ち妊産婦・新生児の助産計画に沿ってケアができる ③ 治療および診断上必要な観察を行い、適切に報告できる ④ 指示された業務を、助産ケア基準・手順に沿って正しくかつ安全に実施できる ⑤ 実施した結果を助産記録の順に沿って正しく記録できる ⑥ 妊産婦・新生児における緊急時の対応を理解している ⑦ 妊産婦・新生児における緊急時に人を呼ぶことができる ⑧ 妊産婦・新生児における緊急時に必要な物品を知り、手順に沿って整備できる ⑨ クリニカルパス使用の場合、それを理解できる	<b>ローリスク／ハイリスク</b> ② 支援を受けながら、基本的助産技術が実施できる ③ 担当した対象について、助産計画に基づき、基準や手順に則り安全確実に助産ケアを実践できる ④ 助産ケア基準・手順に沿って正しい用語・適切な表現で記録できる ⑤ 帝王切開術の産婦・新生児の病態と対処が理解できる ⑥ 妊産婦・新生児における緊急時の対処方法が理解できる ⑦ クリニカルパス使用の場合、パスに沿って実践できる	<b>ローリスク／ハイリスク</b> ① 助産計画に則り実践できる ② 妊産婦・新生児の状態や反応を判断しながら、必要なケアが行える ③ 現在挙げられているニーズや問題以外の新しい情報を、時期を逸せず記録し、計画の追加や修正ができる ④ 妊産婦・新生児における緊急時にチームメンバーとして行動できる	<b>ローリスク／ハイリスク</b> ① 計画に基づいて妊産婦、家族の反応を確認しながら助産ケアができる ② 施設・部署全体の妊産婦・新生児に対するケアにおいて、中心的役割が実践できる ③ 妊産婦・新生児における緊急時に中心的な役割ができる ④ 助産師外来において、教育・指導的な役割ができる ⑤ 関連する他の保健医療職と連携して実践できる	<b>ローリスク／ハイリスク</b> ① 助産ケアにおいて創造性と革新性を発揮できる ② 多様なアプローチを組み入れて助産ケアができる ③ 緊急事態にリーダーシップを発揮し対応できる ④ 常に教育・指導的な役割が実践できる ⑤ 教育・指導的な役割のスタッフを支援できる
	評価	① 提供した助産ケアの結果を正確に報告できる ② 助産ケアにおいてわからないことが言える（相談できる）	① 助産ケアにおける疑問点を質問し、解決できる ② 支援を受けながら、根拠に基づき自分の行った助産ケアを評価できる ③ 継続する問題について計画を修正できる ④ 助産ケアを要約して記述できる	① 提供した助産ケアの結果を、根拠に基づき評価できる ② 目標の達成度の結果を評価でき、計画を修正できる ③ 行った助産ケアを要約して説明・記述できる ④ クリニカルパス使用の場合、パリアンスを評価できる	① 提供した助産ケアについて、妊産婦・新生児、家族のニーズに合っていたか評価できる ② 後輩・学生のロールモデルとなっているか自己評価できる	① 提供した助産ケアについて質的・量的に評価できる ② スタッフの助産ケアを評価し、指導できる

		レベル新人	レベルⅠ	レベルⅡ	レベルⅢ	レベルⅣ
教育	教育・指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 継続教育プログラムの意義を理解できる</li> <li>② 支援を受けながら、自己のレベルに合った院内外の研修や勉強会に積極的に参加できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 継続教育プログラムに自主的に参加できる</li> <li>② 自己のレベルに合った、院内外の研修や勉強会に積極的に参加できる</li> <li>③ 支援を受けながら、妊産褥婦を対象とした保健指導が実施できる(個別・小集団)</li> <li>④ 教育・指導についての基本的事項を理解できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 継続教育プログラムや院内外の研修に、目的をもって自主的に参加できる</li> <li>② 自施設における教育・指導に参加できる(新人や後輩・学生への教育・指導)</li> <li>③ 妊産褥婦を対象とした保健指導が実施できる(個別・小集団)</li> <li>④ 教育における評価が理解できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 新人や後輩、学生の指導において中心的役割を担うことができる</li> <li>② 病棟内の学習会で中心的役割を担うことができる</li> <li>③ 施設内の教育(新人や後輩、学生)に関する企画・運営に参画できる</li> <li>④ 成人学習のプロセスについて、基本的事項を理解できる</li> <li>⑤ あらゆる対象への保健指導を実施できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 自己のキャリアや専門性を踏まえ、計画的に院内外の継続教育プログラム・研修に参画できる</li> <li>② 施設内の教育(新人や後輩、学生)の企画・運営も含めて、中心的な役割ができる</li> <li>③ ②について、他部門との連携も考慮して企画・運営できる</li> <li>④ 病棟内の目標を達成するために、後輩が具体的に行動できるよう支援できる</li> <li>⑤ 教育に関する知識を活かして、後輩が能力を活かせるよう支援できる</li> <li>⑥ 保健指導に関して、教育・指導的な役割を担うことができる</li> </ul>
	自己開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 日々の行動を振り返り、整理することができる</li> <li>② 他者のアドバイスを受け止めることができる</li> <li>③ 支援を受けながら、自己評価と他者評価を踏まえた自己の学習課題を考えることができる</li> <li>④ 支援を受けながら、課題の解決に向けて必要な情報を収集し、解決に向けて行動できる</li> <li>⑤ 支援を受けながら、学習の成果を自らの助産ケアに活用できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 自己評価と他者評価を踏まえた自己の学習課題を考えることができる</li> <li>② 課題の解決に向けて必要な情報を収集し、解決に向けて行動できる</li> <li>③ 学習の成果を自らの助産ケアに活用できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 自己課題を明確にできる</li> <li>② 主体的に、課題の解決に向けて必要な情報を収集し、解決に向けて行動できる</li> <li>③ 学習の成果を自らおよび施設における助産ケアに活用できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 自己のキャリアや専門性を踏まえ、計画的に院内外の継続教育プログラム・研修に参加できる</li> <li>② 専門分野を深めるための自己課題を明確にし、取り組むことができる</li> <li>③ 取り組んだ結果を助産ケアに活用できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 自分のキャリアプラン(教育・管理・実践)を計画できる</li> <li>② 計画を実行するための具体的な方法を考え、進めることができる</li> </ul>
専門的自律能力	研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 院内外の研究発表会に参加し、研究に関心をもつことができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 日常の行動の中で「なぜそうするのか」を考えることができる</li> <li>② 自らの関心に合わせて、院内外の研究発表会に参加できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 日常の実践から、研究疑問を見出すことができる</li> <li>② メンバーとして研究に参画できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 研究的取り組みを計画し、スタッフとともに実践できる</li> <li>② 研究的取り組みの結果を発表できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 研究的取り組みの結果を助産ケアで応用できる</li> <li>② 研究的取り組みを進め、結果を院内外に広めることができる</li> </ul>
	コミュニケーション(対人関係)	<p>ローリスク/ハイリスク</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 対象のニーズを身体的・精神的・社会的側面から把握するように努められる</li> <li>② 対象を一個人として尊重し、傾聴・共感的な態度で接することができる(笑顔、挨拶、自己紹介、言葉遣い、約束を守る等)</li> <li>③ 対象中心のサービスであることを認識して接するように努められる</li> <li>④ 言語的・非言語的コミュニケーション技法について理解できる</li> <li>⑤ 支援を受けながら、対象が納得できる説明を行い、同意を得られる</li> <li>⑥ 守秘義務を厳守し、プライバシーに配慮できる</li> <li>⑦ 5W1H を踏まえてメモをとり、正確に伝達できる</li> </ul>	<p>ローリスク/ハイリスク</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 対象のニーズを身体的・精神的・社会的側面から把握できる</li> <li>② 対象中心のサービスであることを認識して接することができる(忙しさを言い訳にしたり、自らの業務中心になつたりすることのないよう努める)</li> <li>③ 言語的・非言語的コミュニケーション技法を用いてコミュニケーションできる</li> <li>④ 対象が納得できる説明を行い、同意を得られる</li> </ul>	<p>ローリスク/ハイリスク</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 妊産褥婦の言動を手がかりに潜在するニーズや問題に気づき、理解することができる</li> <li>② 助産計画の修正・追加時等に、主体的に妊産褥婦、家族が納得できる説明を行い、同意を得られる</li> </ul>	<p>ローリスク/ハイリスク</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 自分の対応が相手に与える影響を予測しながら行動できる</li> <li>② 妊産褥婦・家族の反応の変化を見逃さず、受け止めることができる</li> <li>③ 状況に応じてアサーティブなコミュニケーションをとることができる</li> <li>④ 関連職種との間においても、良好な関係を維持できるようなかかわりができる</li> </ul>	<p>ローリスク/ハイリスク</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 妊産褥婦、家族と、よりよいパートナーシップが築ける</li> <li>② 妊産褥婦・新生児、家族に対して助産ケアを行いながら、反応や周囲の状況を把握し、妊産褥婦・新生児、家族を尊重した適切なコミュニケーションを図ることができる</li> <li>③ コミュニケーションに関して、教育・指導的な役割ができる</li> </ul>
倫理	社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 職務規定を理解し、それを遵守して行動できる(正当な理由なく遅刻・早退・無断欠勤をしない等)</li> <li>② 規定等に基づき、速やかに報告・連絡・相談できる</li> <li>③ 社会人また助産師としての自分の行動・言動に責任をもつことを理解できる</li> <li>④ 専門職として、自分の健康管理の必要性がわかり行動できる</li> <li>⑤ 助産師としてのアイデンティティをもち、その専門性・自律性を理解して実践できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 職務規定を理解し、それを遵守して行動できる(正当な理由なく遅刻・早退・無断欠勤をしない等)</li> <li>② スタッフが規定等に基づき、速やかに報告・連絡・相談できるように指導できる</li> <li>③ 社会人またチームメンバーとして責任ある行動がとれるように指導できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 職務規定を理解し、スタッフがそれを遵守して行動できる(正当な理由なく遅刻・早退・無断欠勤をしない等)</li> <li>② スタッフが規定等に基づき、速やかに報告・連絡・相談できるように指導できる</li> <li>③ 社会人またチームメンバーとして責任ある行動がとれるように指導できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 職務規定の重要性を認識し、自ら実践するとともに、後輩の指導ができる</li> </ul>	

		レベル新人	レベルⅠ	レベルⅡ	レベルⅢ	レベルⅣ
倫理	助産倫理	① ICM-助産師の倫理綱領、ICN-看護師の倫理綱領、日本看護協会-看護師の倫理綱領を理解できる ② 助産業務に関連する生命倫理を意識できる ③ 職業人としての自覚をもち、倫理に基づいて行動できる	① ICM-助産師の倫理綱領、ICN-看護師の倫理綱領、日本看護協会-看護師の倫理綱領について、日常の助産ケアに関連づけて理解できる ② 倫理原則を理解できる ③ 助産ケアは法的根拠に基づくものであることを理解できる	① 妊産褥婦・家族の価値観を理解できる ② 価値の多様性、互いの価値を尊重することの重要性を理解し、行動できる ③ 支援を受けながら、法的根拠に基づいた実践ができる	① 倫理的意思決定のプロセスに参画できる ② ①においては、対象・家族の視点を理解し、必要な情報提供等の支援ができる ③ 倫理的課題に対して、対象や家族、関連する職種と対話をもちながら、最善の選択ができるよう行動できる ④ 法的根拠に基づいた実践ができる ⑤ 学生指導や研修生の実習に伴う助産師・看護師の法的責任について理解し、実践できる	① 倫理的意思決定場面においてコーディネートの役割を担うことができる ② 自部署における倫理的な感受性を高めるよう行動できる ③ 学生指導や研修生の実習に伴う法的根拠について、教育・指導的役割が実践できる
		安全管理・安全確保 ① 自施設における医療安全管理体制について理解できる ② インシデント事例や事故事例を速やかに報告できる ③ インシデント事例や事故事例について、支援を受けながら経過を振り返ることができる ④ インシデント事例や事故事例・記録方法(報告書)がわかる ⑤ 周産期に起こりうる事故について、支援を受けながら予測でき対策をとることができる(新生児の取り違い、新生児の拉致、窒息、転倒・転落、熱傷、盗難等) ⑥ 規定に沿って適切に医療機器・医療器具を取り扱うことができる ⑦ 与薬の原則を理解して実施できる 感染予防 ① 標準予防策(スタンダード・プリコーション)・感染経路別予防策について理解できる ② ①に則って行動できる(手指衛生、個人用防護具(PPE): 手袋・ガウン・エプロン・マスク・ゴーグル、無菌操作、清潔・不潔の区別、医療廃棄物規定に則った適切な取り扱い等) 災害・防災管理 ① 自施設における災害・防災管理体制について理解できる ② 自部署の管理体制(消火設備、避難経路)等がわかる ③ ②に基づいて日常的に行動できる(病棟入口の戸締まり、面会者の確認等) ④ 災害発生時の初期対応がわかる ⑤ 災害時、指示に従い、④の行動ができる ⑥ 定期的な災害・防災訓練に参画できる 情報管理 ① 自施設における情報管理体制について理解できる ② ①に基づいて行動できる(記録、PC、パスワード、患者情報等)	安全管理・安全確保 ① インシデント事例や事故事例について、経過を振り返ることができる ② インシデント事例や事故事例について、支援を受けながら今後活かせる対策を考えることができる ③ 周産期に起こりうる事故を予測でき、対策をとることができる(新生児の取り違い、新生児の拉致、窒息、転倒・転落、熱傷、盗難等) ④ 事故発生時、対象の生命を優先して判断し行動できる 感染予防 ① 自施設の体制に則って行動できる 災害・防災管理 ① 災害時に、主体的に初期対応が実践できる 情報管理 ① 自施設の体制に則って行動できる	安全管理・安全確保/感染予防/災害・防災管理/情報管理 ① 療養環境が安全であるか常に配慮し、調整できる ② インシデント・アクシデント・感染防止・災害対策に関して中心的役割を担うことができる ③ 職員の安全が確保できる職場環境を整えるために取り組める ④ 医療機器を安全に使えるように環境調整できる ⑤ 医薬品・医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法令(医薬品医療機器等法)等に関心をもつことができる	安全管理・安全確保/感染予防/災害・防災管理/情報管理 ① 療養環境が安全であるか常に配慮し、後輩に教えることができる ② インシデント・アクシデントレポートから、看護単位における問題を発見できる ③ ②の問題に対して、看護管理者とともに解決策を考えることができる ④ 対策を実施し、その結果を評価、フィードバックできる	
		安全管理 ① 標準予防策(スタンダード・プリコーション)・感染経路別予防策について理解できる ② ①に則って行動できる(手指衛生、個人用防護具(PPE): 手袋・ガウン・エプロン・マスク・ゴーグル、無菌操作、清潔・不潔の区別、医療廃棄物規定に則った適切な取り扱い等) 災害・防災管理 ① 自施設における災害・防災管理体制について理解できる ② 自部署の管理体制(消火設備、避難経路)等がわかる ③ ②に基づいて日常的に行動できる(病棟入口の戸締まり、面会者の確認等) ④ 災害発生時の初期対応がわかる ⑤ 災害時、指示に従い、④の行動ができる ⑥ 定期的な災害・防災訓練に参画できる 情報管理 ① 自施設における情報管理体制について理解できる ② ①に基づいて行動できる(記録、PC、パスワード、患者情報等)	安全管理・安全確保 ① インシデント事例や事故事例について、経過を振り返ることができる ② インシデント事例や事故事例について、支援を受けながら今後活かせる対策を考えることができる ③ 周産期に起こりうる事故を予測でき、対策をとることができる(新生児の取り違い、新生児の拉致、窒息、転倒・転落、熱傷、盗難等) ④ 事故発生時、対象の生命を優先して判断し行動できる 感染予防 ① 自施設の体制に則って行動できる 災害・防災管理 ① 災害時に、主体的に初期対応が実践できる 情報管理 ① 自施設の体制に則って行動できる	安全管理・安全確保/感染予防/災害・防災管理/情報管理 ① 療養環境が安全であるか常に配慮し、調整できる ② インシデント・アクシデント・感染防止・災害対策に関して中心的役割を担うことができる ③ 職員の安全が確保できる職場環境を整えるために取り組める ④ 医療機器を安全に使えるように環境調整できる ⑤ 医薬品・医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法令(医薬品医療機器等法)等に関心をもつことができる	安全管理・安全確保/感染予防/災害・防災管理/情報管理 ① 療養環境が安全であるか常に配慮し、後輩に教えることができる ② インシデント・アクシデントレポートから、看護単位における問題を発見できる ③ ②の問題に対して、看護管理者とともに解決策を考えることができる ④ 対策を実施し、その結果を評価、フィードバックできる	
専門的自律能力	管理(マネジメント)	① 支援を受けながら、費用対効果を考慮して、物品を適切に選択・準備・使用できる ② 支援を受けながら、対象の負担を考慮して、物品を適切に使用できる ③ 支援を受けながら、時間の使い方を考えることができる	① 費用対効果を考慮して、物品を適切に選択・準備・使用できる ② 対象の負担を考慮して、物品を適切に使用できる ③ 支援を受けながら、時間内に必要な助産ケアができる	① 費用対効果を考慮して、自ら工夫して物品を適切に選択・準備・使用できる ② 対象の負担を考慮して、対象の意見を聞き、自ら工夫しながら物品を適切に使用できる ③ 自ら調整して、時間内に必要な助産ケアができる	① 自施設の物流システムを理解し、運用できる ② 物品・薬品の管理について経済性を考慮できる ③ 診療報酬制度等の医療政策に関心をもつことができる ④ リーダーシップを発揮できる	① 自部署の物品管理を積極的に行い、問題提起できる ② 看護単位における予算の流れが理解できる ③ 診療報酬制度に基づき、自部署の課題を明確化できる
		① 施設および看護部の理念を理解できる ② 施設および看護部の組織と機能を理解できる ③ 職場の運営方針・目標が理解できる ④ チーム医療のメンバーとしての役割を理解して協働できる(報告・連絡・相談ができる、事実を正しく報告できる) ⑤ 係活動に参加し、その役割を理解できる ⑥ 同僚や他の職種とコミュニケーションできる	① 施設および看護部の理念を理解し、行動できる ② 施設および看護部の組織と機能を理解し、行動できる ④ チーム医療のメンバーとしての役割を理解して支援を受けながら協働できる ⑤ 係活動に参加し、その役割を理解して行動できる ⑥ 同僚や他の職種と必要なコミュニケーションができる ⑦ 職種による考え方の相違を理解できる ⑧ リーダーの役割を理解できる	① よりよいチームワークを目指して的確に行動できる ② リーダーシップの概念が理解できる ③ 助産チームの業務が円滑かつ的確に実施できるよう、チームメンバーに指示できる	① 助産業務における調整機能を発揮できる ② 他部門と連携・調整できる ③ 後輩からの相談を受け、支援できる	① 看護部や看護単位の目標に基づいた活動を推進できる ② 看護単位における委員会や係、会議の推進ができる ③ 看護単位の業務改善に主導的な立場で取り組むことができる ④ 後輩と師長・監督職とのパイプ役となる ⑤ 自己の判断のできることで、できないことが区別できる
		① 施設および看護部の理念を理解できる ② 施設および看護部の組織と機能を理解できる ③ 職場の運営方針・目標が理解できる ④ チーム医療のメンバーとしての役割を理解して協働できる(報告・連絡・相談ができる、事実を正しく報告できる) ⑤ 係活動に参加し、その役割を理解できる ⑥ 同僚や他の職種とコミュニケーションできる	① 施設および看護部の理念を理解し、行動できる ② 施設および看護部の組織と機能を理解し、行動できる ④ チーム医療のメンバーとしての役割を理解して支援を受けながら協働できる ⑤ 係活動に参加し、その役割を理解して行動できる ⑥ 同僚や他の職種と必要なコミュニケーションができる ⑦ 職種による考え方の相違を理解できる ⑧ リーダーの役割を理解できる	① よりよいチームワークを目指して的確に行動できる ② リーダーシップの概念が理解できる ③ 助産チームの業務が円滑かつ的確に実施できるよう、チームメンバーに指示できる	① 助産業務における調整機能を発揮できる ② 他部門と連携・調整できる ③ 後輩からの相談を受け、支援できる	① 看護部や看護単位の目標に基づいた活動を推進できる ② 看護単位における委員会や係、会議の推進ができる ③ 看護単位の業務改善に主導的な立場で取り組むことができる ④ 後輩と師長・監督職とのパイプ役となる ⑤ 自己の判断のできることで、できないことが区別できる

		中項目	レベル新人	レベルⅠ	レベルⅡ	レベルⅢ	レベルⅣ
女性のライフサイクルの観点からの対象理解	女性のライフサイクルの観点から、女性の成長に伴う身体、精神と社会的機能状況(セクシュアリティやジェンダー含む)からの対象理解	① 女性の成長に伴う身体、精神と社会的機能状況について学習できる	① 女性の成長に伴う身体、精神と社会的機能状況について、共感的態度をもち、対象への理解を示すことができる	① 女性のライフサイクルの観点から、女性の成長に伴う身体、精神と社会的機能状況について、共感的態度をもち、対象への理解を示せる	① 女性のライフサイクルの観点から、女性の成長に伴う身体、精神と社会的機能状況について、共感的態度をもち、対象への理解を示せる	① 女性のライフサイクルの観点から、女性の成長に伴う身体、精神と社会的機能状況について、共感的態度をもち、対象への理解を示せる	① すべてのライフステージの女性を理解するために必要な支援体制を構築し、対象への理解を示せる
	女性とその家族の発達段階のアクセスメントと理解	① 女性とその家族の発達段階について学習できる	① 女性とその家族をアクセスメントし理解できる	① 女性とその家族の発達段階をアクセスメントし、支援を計画できる	① 女性とその家族の発達段階をアクセスメントし、支援を計画・実施・評価できる	① 女性とその家族の発達段階の理解に必要な知識や支援体制を構築し、評価できる	① 女性とその家族の発達段階の理解に必要な知識や支援体制を構築し、評価できる
	女性のライフサイクル特有の問題に関する自身の健康への自覚と管理に向けた啓発活動と評価	① 女性のライフサイクル特有の問題を学習し、自身の健康の自覚をする	① 女性のライフサイクル特有の問題の管理に向けた健康教育を理解できる	① 女性のライフサイクル特有の問題の管理に向けた健康教育を計画できる	① 女性のライフサイクル特有の問題の管理に向けた健康教育を計画・実施・評価できる	① 女性のライフサイクル特有の問題の管理に向けた健康教育を計画・実施・評価できる	① 女性のライフサイクル特有の問題に関する健康への自覚と管理に向けた健康教育について体制を構築し、評価できる
	女性特有の疾患(婦人科疾患、骨粗鬆症等)のアクセスメント、支援と評価	① 女性特有の疾患について学習できる	① 女性特有の疾患を有する女性の支援に必要な医学的知識や女性の身体、精神と社会的機能状況のアクセスメント、支援方法について理解できる	① 女性特有の疾患を有する女性の支援を計画できる	① 女性特有の疾患を有する女性の支援を計画・実施・評価できる	① 女性特有の疾患を有する女性の支援を計画・実施・評価できる	① 女性特有の疾患を有する女性に必要な知識や支援等について、体制を構築し、評価できる
リプロダクティブヘルス/ライツに基づく支援	産前・産後のメンタルヘルスケア	① 妊娠、出産、育児に関連する女性の性周期、身体、精神と社会的機能や役割の変化に伴うメンタルヘルスについて学習できる	① 産前・産後のメンタルヘルスケア支援に必要な知識やアクセスメント、支援方法について理解することができる ② 産前・産後の支援に係る健康教育を理解できる	① 指導を受けながら、産前・産後のメンタルヘルスケアを計画・実施・評価できる ② 指導を受けながら、産前・産後のメンタルヘルスに係る健康教育を計画・実施・評価できる	① 自律して、産前・産後のメンタルヘルスケアを計画・実施・評価できる ② 自律して、産前・産後のメンタルヘルスに係る健康教育を計画・実施・評価できる	① 産前・産後のメンタルヘルスケアの知識や支援等について、教育的指導を行い、評価できる ② 産前・産後のメンタルヘルスに係る健康教育について体制を構築し、評価できる	
	妊娠期からの子育て支援による胎児を含む子どもの虐待予防の支援	① 妊娠期からの子育て支援による胎児を含む子どもの虐待予防について学習できる	① 妊娠期からの子育て支援による胎児を含む子どもの虐待予防の支援に必要な知識やアクセスメント、支援方法について理解できる ② 胎児を含む子どもの虐待の予防、発見と支援に係る健康教育を理解できる	① 指導を受けながら、妊娠期からの子育て支援による胎児を含む子どもの虐待予防を計画・実施・評価できる ② 指導を受けながら、子どもの虐待予防に係る健康教育を計画・実施・評価できる	① 自律して、妊娠期からの子育て支援による胎児を含む子どもの虐待予防を計画・実施・評価できる ② 自律して、胎児を含む子どもの虐待予防に係る健康教育を計画・実施・評価できる	① 妊娠期からの子育て支援による胎児を含む子どもの虐待予防の知識や支援等について、教育的指導を行い、評価できる ② 妊娠期からの子育て支援による胎児を含む子どもの虐待予防に係る健康教育について体制を構築し、評価できる	
	妊娠から子育て期において支援を必要とする母親とその家族の支援	① 妊娠から子育て期において特に支援を要する母親(特定妊婦や虐待予防の支援を要する妊産婦等)とその家族について学習できる	① 妊娠から子育て期における母親とその家族の支援に必要な知識やアクセスメント、支援方法について理解できる ② 妊娠から子育て期における母親とその家族の支援に係る健康教育を理解できる	① 指導を受けながら、妊娠から子育て期における母親とその家族の支援を計画・実施・評価できる ② 指導を受けながら、妊娠から子育て期における母親とその家族の支援に係る健康教育を計画・実施・評価できる	① 自律して、妊娠から子育て期における母親とその家族の支援を計画・実施・評価できる ② 自律して、妊娠から子育て期における母親とその家族の支援に係る健康教育を計画・実施・評価できる	① 妊娠から子育て期における母親とその家族の知識や支援等について、教育的指導を行い、評価できる ② 妊娠から子育て期における母親とその家族の支援に係る健康教育について体制を構築し、評価できる	
	不妊、不育の悩みをもつ女性の支援(出生前診断を含む)	① 不妊症、不育症(出生前診断含む)について学習できる	① 不妊、不育の悩みをもつ女性とパートナーの支援に必要な医学的知識や不妊や不育の悩みをもつ女性とパートナーの身体、精神と社会的機能状況について理解できる ② 不妊症、不育症に係る健康教育を理解できる	① 不妊、不育の悩みをもつ女性とパートナーの支援を計画できる ② 不妊症、不育症に係る健康教育を計画できる ③ 関連する保健医療職と連携できる	① 不妊、不育の悩みをもつ女性とパートナーの支援を計画・実施・評価できる ② 不妊症、不育症に係る健康教育を計画・実施・評価できる	① 不妊、不育の悩みをもつ女性とパートナーに必要な知識や支援等について、教育的指導を行い、評価できる ② 不妊症、不育症に係る健康教育について体制を構築し、評価できる	
	家族計画の支援	① 家族計画について学習できる	① 家族計画の支援に必要な医学的知識や女性とパートナーの身体、精神と社会的機能状況のアクセスメント、支援方法について理解できる ② 家族計画に係る健康教育を理解できる	① 女性とパートナーに対して、家族計画の支援を計画できる ② 家族計画に係る健康教育を計画できる	① 女性とパートナーに対して、家族計画の支援を計画・実施・評価できる ② 家族計画に係る健康教育を計画・実施・評価できる	① 家族計画に必要な知識や支援等について、教育的指導を行い、評価できる ② 家族計画に係る健康教育について体制を構築し、評価できる	
	ウイメンズヘルスケア能力						

	中項目	レベル新人	レベルⅠ	レベルⅡ	レベルⅢ	レベルⅣ
ウィメンズヘルスケア能力 リプロダクティブヘルス/ライツに基づく支援	性感染症予防の支援	① 性感染症について学習できる	① 性感染症予防に係る支援に必要な医学的知識や性感染症に罹患している女性とパートナーの身体、精神と社会的機能状況のアセスメント、支援方法について理解できる ② 性感染症予防に係る健康教育を理解できる	① 性感染症に罹患している女性とパートナーの支援を計画できる ② 性感染症予防に係る健康教育を計画できる	① 性感染症に罹患している女性とパートナーの支援を計画・実施・評価できる ② 性感染症予防に係る健康教育を計画・実施・評価できる	① 性感染症に罹患している女性とパートナーに必要な知識や支援等について、教育的指導を行い、評価できる ② 性感染症予防に係る健康教育について体制を構築し、評価できる
	月経異常や月経障害等を有する女性の支援（更年期の女性へのケアを含む）	① 月経異常や月経障害等について学習できる	① 月経異常や月経障害等を有する女性の支援に必要な医学的知識や月経異常や月経障害等を有する女性の身体、精神と社会的機能状況のアセスメント、支援方法について理解できる ② 月経異常や月経障害等に係る健康教育を理解できる	① 月経異常や月経障害等を有する女性の支援を計画できる ② 月経異常や月経障害等に係る健康教育を計画できる	① 月経異常や月経障害等を有する女性の支援を計画・実施・評価できる ② 月経異常や月経障害等に係る健康教育を計画・実施・評価できる	① 月経異常や月経障害等を有する女性に必要な知識や支援等について、教育的指導を行い、評価できる ② 月経異常や月経障害等に係る健康教育について体制を構築し、評価できる
	女性に対する暴力予防の支援（モラルハラスメント、DV、セクシュアルハラスメント、性的虐待を含む）	① 女性に対する暴力について学習できる	① 暴力を受けた女性の支援に必要な知識や暴力を受けた女性の身体、精神と社会的機能状況のアセスメント、支援方法について理解できる ② 女性に対する暴力予防に係る健康教育を理解できる	① 暴力を受けた女性の支援を計画できる ② 指導を受けながら、女性に対する暴力予防に係る健康教育を計画できる ③ 女性を守るために必要な行政・保険医療機関と連携できる	① 暴力を受けた女性の支援を計画・実施・評価できる ② 女性に対する暴力予防に係る健康教育を計画・実施・評価できる	① 暴力を受けた女性に必要な知識や支援等について、教育的指導を行い、評価できる ② 女性に対する暴力予防に係る健康教育について体制を構築し、評価できる
	予期せぬ妊娠をした女性の支援	① 予期せぬ妊娠について学習できる	① 予期せぬ妊娠をした女性の支援に必要な知識や予期せぬ妊娠をした女性の身体、精神と社会的機能状況のアセスメント、支援方法について理解できる ② 予期せぬ妊娠に係る健康教育を理解できる	① 予期せぬ妊娠をした女性の支援を計画できる ② 指導を受けながら、予期せぬ妊娠をした女性の支援に係る健康教育を計画できる	① 予期せぬ妊娠をした女性の支援を計画・実施・評価できる ② 予期せぬ妊娠をした女性の支援に係る健康教育を計画・実施・評価できる	① 予期せぬ妊娠をした女性に必要な知識や支援等について、教育的指導を行い、評価できる ② 予期せぬ妊娠をした女性の支援に係る健康教育について体制を構築し、評価できる
	多様な性の支援	① 多様な性について学習できる	① 多様な性の支援に必要な知識や多様な性の身体、精神と社会的機能状況のアセスメント、支援方法について理解できる ② 多様な性に係る健康教育を理解できる	① 多様な性の支援を計画できる ② 指導を受けながら、多様な性に係る健康教育を計画できる	① 多様な性の支援を計画・実施・評価できる ② 多様な性に係る健康教育を計画・実施・評価できる	① 多様な性の知識や支援等について、教育的指導を行い、評価できる ② 多様な性に係る健康教育について体制を構築し、評価できる
	女性のメンタルヘルスケア	② 女性の性周期や身体、精神と社会的機能や役割の変化に伴う女性のメンタルヘルスについて学習できる	① 女性のメンタルヘルスケア支援に必要な知識やアセスメント、支援方法について理解できる ② 女性のメンタルヘルスに係る健康教育を理解できる	① 女性のメンタルヘルスケアを計画できる ② 指導を受けながら、女性のメンタルヘルスに係る健康教育を計画できる	① 女性のメンタルヘルスケアを計画・実施・評価できる ② 女性のメンタルヘルスに係る健康教育を計画・実施・評価できる	① 女性のメンタルヘルスケアの知識や支援等について、教育的指導を行い、評価できる ② 女性のメンタルヘルスに係る健康教育について体制を構築し、評価できる